

## 平成25年度 第2回 宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成25年12月3日(火)

午前10時30分～

会 場 中央生涯学習センター 404学習室

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 平成25年度宇都宮市民大学後期講座実施状況について・・・資料1

(2) 平成26年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター

企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

4 その他

5 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(平成24年9月1日～平成26年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職
1	あいはら えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院女子短期大学部 事務局長
2	いしづか みきお 石塚 幹男	株式会社下野新聞社 編集局総務部長
○ 3	おかだ かずなり 岡田 一成	宇都宮共和大学 事務局長
4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
◇ 5	こばり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 主任研究員
◎ 6	たけざわ かずお 竹澤 一夫	株式会社栃木放送 常務取締役
7	なかじま そうこう 中島 宗皓	宇都宮大学 地域連携教育研究センター センター長
8	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
9	はなづみ かずこ 花積 和子	宇都宮市生涯学習コーディネーター
◇ 10	ますだ としかず 増田 寿一	財団法人とちぎ未来づくり財団 事務局長

(五十音順)

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

## 平成 25 年度宇都宮市民大学後期講座実施状況について

### 1 合同開講式

#### (1) 実施内容

- ・ 主催者挨拶 ー宇都宮市教育委員会 教育次長 檜原 貞亮  
宇都宮大学 学長 進村 武男 氏
- ・ 来賓挨拶 ー 宇都宮市教育委員会 前委員長 藤原 宏史 氏
- ・ 受講証交付 ー教育次長より受講者代表 2 名へ交付

#### (2) 受講者の感想・意見

- ・ 市民大学のキックオフとして、大変意義がある。
- ・ 主催者や来賓の所属がわかり、顔も見えてよかった。
- ・ たくさんの人の前向きな空気に触れることができてよかった。
- ・ 開講式は意義があるが、もっと簡素な形式でよいのでは。

#### (3) 評価

受講者のアンケートでは、7割以上が「よかった」と評価している一方で、「専門講座ごとの開催でよい」という意見が1割程あった。

また、感想・意見からは、「勉強するぞと意欲が湧いた」や「このような機会でないで、大学に足を運ばない」などの意見もあり、受講者が一堂に会することや、共催事業として宇都宮大学で開催できたことは、受講者の学習意欲の高揚に繋がったと考察される。

(別紙 1 「平成 25 年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告」参照)

### 2 公開講座

#### (1) 実施内容

- ・ 講 師 チェ・ボユン 氏 (宇都宮大学国際学部 講師)
- ・ テ ー マ 「韓流ドラマが映し出す現代韓国社会と文化」
- ・ 講義内容 日本でブームとなっている韓国ドラマが、単なる娯楽的要素だけでなく、韓国における習慣や伝統を背景に、現代の社会問題まで映し出した文化であるという視点から見直す講座

#### (2) 受講者の感想・意見

- ・ 普段は学べない項目なのでよかった。
- ・ 韓国の世情、背景がよくわかった。
- ・ 生活の中に取り入れ、仲間(友人、サークルの人たち)にも広げてゆきたい。
- ・ 国の違いと、家族のあり方の違いを理解した。
- ・ 韓国ドラマを見ないので、あまり心に響かなかった。

### (3) 評価

受講者アンケートでは、「良かった」との意見が7割を越え、満足度の高い講座であった。

講義は、画像等を用いたわかりやすい進行であり、「よく理解できた」といった意見が多かった。また「切り口が良かった」などのほか、「社会事情の一端を知ることができてよかった」、「互いの国民性、民族性を理解することが大切と感じた」との意見もあり、受講者の視点や考え方も見つめ直すきっかけにもなったと考察される。

## 3 専門講座

現在、「合同開講式・公開講座」を全ての専門講座の第1回として位置づけ、後期6講座を開催しているところである。

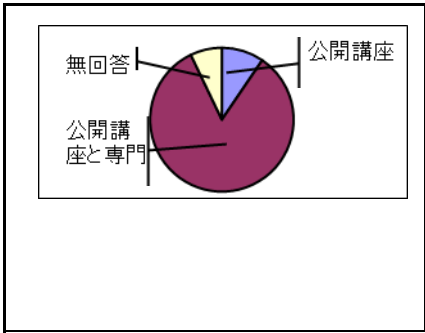
- (1) 講座数 6講座（6回～8回 ※専門講座のみ）
- (2) 募集方法 広報うつのみや（平成25年9月号）、市ホームページ、パンフレット、チラシ
- (3) 開催期間 平成25年10月24日～平成25年12月20日
- (4) 募集定員 280人
- (5) 応募者数 374人
- (6) 受講者数 314人
- (7) 講座内容 別紙2「平成25年度宇都宮市民大学後期専門講座実施状況」参照

平成25年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告



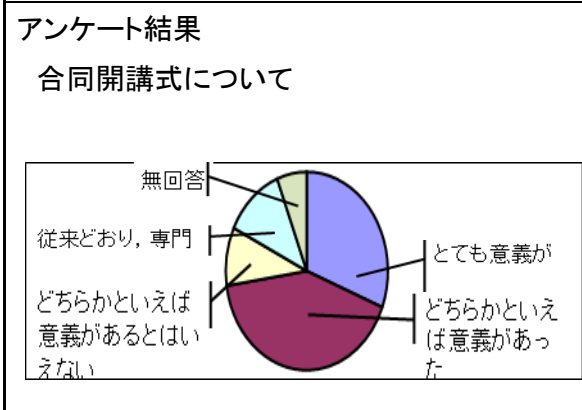
◇開催日時: 平成25年10月24日  
 午前10時30分～正午  
 ◇開催場所: 宇都宮大学 峰キャンパス  
 ◇受講者数: 180名  
 ◇アンケート回収数: 84名(46.7%)  
 ◇出席来賓 2名  
 ◇出席主催者 13名  
 ◇運営スタッフ 19名

受講生について(全体)		区分	人数	割合
	(1) 年齢	1 20歳未満	0	0%
		2 20代	0	0%
		3 30代	1	1%
		4 40代	3	4%
		5 50代	7	8%
		6 60代	38	45%
		7 70代	32	38%
		8 80歳以上	3	4%
		無回答	0	0%
		合計	84	100%
	(2) 性別	区分	人数	割合
		1 男性	33	39%
		2 女性	46	55%
		無回答	5	6%
		合計	84	100%

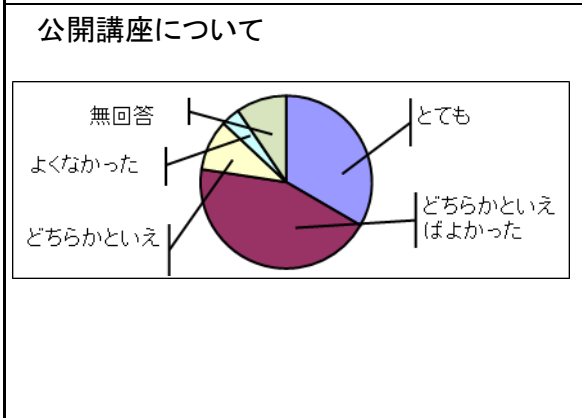


(3)  
公開講座  
と  
専門講座

区分	人数	割合
1 公開講座のみ受講	8	10%
2 公開講座と専門講座を受講	70	83%
無回答	6	7%
合計	84	100%



区分	人数	割合
1 とても意義がありよかった	26	31%
2 どちらかといえば意義があった	35	42%
3 どちらかといえば意義があるとはいえない	8	10%
4 従来どおり, 専門講座ごとの開催でよい	10	12%
無回答	5	6%
合計	84	100%



区分	人数	割合
1 とてもよかった	28	33%
2 どちらかといえばよかった	37	44%
3 どちらかといえばよくなかった	8	10%
4 よくなかった	3	4%
無回答	8	10%
合計	84	100%

## 平成25年度宇都宮市民大学後期専門講座実施状況

No.	講座名(開講数)	講師	定員	応募者数	受講者数
1	[宇都宮大学連携講座] 里山の今、そして未来 ～人と自然が折り合う空間の再発見～ (全7回) (ふるさと地域学コース)	宇都宮大学 農学部 教授 飯郷 雅之 氏, 大久保 達弘 氏, 平井 英明 氏, 山本 美穂 氏 宇都宮大学 農学部附属里山科学センター 科学技術振興研究員 平井 雅世 氏 宇都宮大学 雑草科学センター 准教授 西尾 孝佳 氏 宇都宮大学 教育学部 准教授 佐々木 和也 氏	30	54	45
2	仏像から宇都宮の歴史・文化を探る (全7回) (ふるさと地域学コース)	宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良 氏 小杉放菴記念日光美術館 顧問 北口 英雄 氏	70	122	86
3	シニアの健康 (全8回) (今を読み解く現代社会コース)	日本笑い学会 講師 藤井 敬三 氏 医師 松本 光正 氏 ストレスカウンセラー・生活心理士 兼子 裕子 氏 社会人落語家 平井 幸雄 氏 僧侶・陶芸家 柴田 宋休 氏	50	77	69
4	宇都宮の文化・工芸アーティストたち ～温もりを感じる, そこに ものづくりの繊細さが同居して～ (全7回) (暮らしを彩る教養・文化コース)	日展会友 日工会評議員 陶芸作家 谷口 勇三 氏 拓版画家 坂本 富男 氏 クイーン洋菓子店 オーナーパティシエ 大濱 幸雄 氏 とらっとりあ天野 シェフ 齋藤 朋一 氏 栃木県立小山北桜高等学校 元校長 高垣 由男 氏 青源味噌株式会社 社長 青木 敬信 氏	50	46	45
5	現代アート入門講座 ～アートを楽しみ, アートでまちを生き活きと!～ (全9回) (暮らしを彩る教養・文化コース)	東京都現代美術館 (MOT) チーフ・キュレーター 長谷川 祐子 氏 株式会社柿沼事務所 代表 書家 柿沼 康二 氏 文星芸術大学 学長 上野 憲示 氏 美術学部教授 林 香君 氏 東京大学大学院 隈研吾研究室 マッテオ・ベルフィオーレ 氏 クリエイティブ・ディレクター 仲原 正治 氏 アーティスト タムラ サトル 氏	50	50	48
6	宇都宮ゆかりの『小倉百人一首』から学ぶ コミュニケーション ～今こそ詠みたい! 三十一文字のラブレター～ (全6回) (コミュニケーション学コース)	宇都宮大かるた会 会長 加藤 光伸 氏 國學院大學栃木短期大学 日本文化学科 教授 林田 孝和 氏 月刊誌「短歌たかむら」 編集長 高橋 淑乃 氏 人材かがやきセンター 地域教育指導員	30	25	21
計			280	374	314

## 平成 26 年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について

## 1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 平成 25 年 11 月 26 日 (火)
- (2) 場 所 中央生涯学習センター 206 学習室
- (3) 出席者 委員 9 名 (1 名欠席)  
別紙 3 「宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿」 のとおり
- (4) 応募数 15 企画  
別紙 4 「宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会審査結果一覧表」 のとおり
- (5) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査
- (6) 選考数 9 講座 (3 コース)
- (7) 選考基準 別紙 5 「審査項目と審査基準」 のとおり

## 【参考】

コース	内 容
I ふるさと 地域学コース	地域の歴史や文化財、産業、自然、民俗など地域の特質から今の宇都宮を知り、今後のまちづくりに生かしていくための講座
II 今を読み解く 現代社会コース	社会経済環境や価値観がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしに生かしていく知恵を学ぶ講座
III 暮らしを彩る教養 ・文化コース	豊かな人間性を培う深い教養を身につけるため、芸術・文化のほか、先進技術や科学、物理など、実践的で楽しい学びから仲間づくりを促進する講座
IV コミュニケーション学 コース	地域コミュニティの再生を図るため、良い人間関係を培うスキルを論理的・体験的に学び、豊かで円滑な地域社会の構築を促進する講座

## 2 選考結果

コース別選定状況は下記のとおり。



分野(コース)	コーディネーター 企画		合計 講座数	(参考) 応募数
	前期	後期		
I ふるさと地域学コース	2	0	2	3
II 今を読み解く現代社会コース	2	1	3	5
III 暮らしを彩る教養・文化コース	1	3	4	6
IV コミュニケーション学コース	0	0	0	1
合計	5	4	9	15

(1) 「I ふるさと地域学コース」

【選考結果】

1グループ、1個人から3本の企画提案があり、No.1, No.3の2企画を選定した。

【講座内容】

No.1 「下野における戊辰戦争」

～宇都宮を中心に～

戊辰戦争時の宇都宮の歴史等について、地域に残された資料を使って学習する講座。館外学習を交え、先人の歩んだ歴史についての理解を深めながら、宇都宮の良い所を再発見することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 戊辰戦争時の宇都宮周辺の事情がわかるということは、ある程度興味が湧くのではないか。
- ・ 宇都宮市と戊辰戦争の関わりが理解できる講座である。

No.3 「こぬ人を まつほの浦の 夕なぎに」

『小倉百人一首』を歴史的視点から学ぶとともに、宇都宮との関わりや、宇都宮の文化を再認識するための講座。館外学習を交えて理解を深めるとともに、現地の観光ボランティアを活用し、さらに宇都宮の文化への興味や関心を高めることもねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 歴史的視点からの百人一首を取り上げることで、宇都宮氏の理解を深める視点の面白い講座だと感じる。
- ・ 百人一首を歴史的観点からという発想が魅力である。

(2) 「Ⅱ 今を読み解く現代社会コース」

【選考結果】

2グループから5本の企画提案があり、No.1, No.4, No.5の3企画を選定した。

【講座内容】

No.1 「夢への挑戦 陸！海！空！」

～その発想とプロセスに学ぶ～

宇都宮に縁の深い、航空宇宙、自動車に船を加えて、夢への挑戦事例をそれぞれの専門家から学ぶ講座。よりレベルの高い目標を実現するといった、夢に挑戦することへのきっかけづくりや、挑戦への意識を刺激することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 夢のある講座だと思う。他の講座と少し違った内容となっている。
- ・ 現在話題となっていることをふんだんに取り込み、ユニークな発想である。

No.4 「知って得する 気象講座」

～私たちの生活と関連づけて～

地球温暖化による異常気象から、身近な気象災害から身を守るために、専門的な気象・天気について学ぶ講座。他人に頼る防災ではなく、自分自身の問題として判断し関心を高めてもらうことをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 防災の視点から気象学を学ぶことは大切だと思う。
- ・ 市民の知的好奇心を満たし、学びを深めてゆける内容である。

No.5 「老後を安心して暮らすために」

～今、何をどうすべきか～

健康からの視点ではなく、「お金」や「介護」、「死」といった問題について学ぶ講座。これらは身近な問題であることから、こらからの生き方について、受講者同士が意見交換するといったワークショップも行い、これからの生き方について考えてもらうことをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 社会的な切実な問題を取り上げている企画である。
- ・ 誰もが抱える問題である。ニーズとしてはあると思う。

(3) 「Ⅲ 暮らしを彩る教養・文化コース」

【選考結果】

4 グループから6本の企画提案があり、No.2, No.3, No.4, No.6の4企画を選定した。

【講座内容】

No.2 「下野薬師寺を探る」

～古代東国仏教の中心寺院～

現在残る薬師寺から、古代下野の歴史的背景や地理的・政治的背景を学ぶ講座。

発掘資料から、下野薬師寺がどのように解明されていったかなど、館外学習を交えながら考古学の興味関心を高めることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 大和時代の栃木県を知るのに良い講座であり、栃木県の文化発見にも繋がる。
- ・ 市民の関心を引きそうな企画である。発展性も期待できる。

No.3 「仏像の歴史を探る」

～素晴らしい仏像と出会うために～

仏像について、時代の変遷から系統的に学ぶ講座。仏像をとおして、当時の人々がどのような信仰を持っていたのか、人々のどのような願いが込められていたのかを感じ取り、これからの生き方を考えるきっかけとすることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 仏像に関する講座は人気のある講座。さらに専門的な学習になる。
- ・ 高齢者向け講座として、生きがいつくり、学縁づくりになる。

No.4 「国の曙『弥生時代』を知る」

～東国、そして栃木～

弥生時代の日本において、村から国家に変化をしていった600年間を歴史的視点から学ぶ講座。講師を栃木県立博物館の専門家としていることから、栃木県における弥生時代についても理解を深めることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ あまり知られていない弥生時代を取り上げるのは関心と呼ぶと思う。
- ・ 謎の時代の「弥生」について取り上げることは興味深いことである。

#### No.6 「世界無形文化遺産“和食”文化を見直そう！」

～豊かな自然の豊かな食材で、旨くて美しい日本の料理を～

世界無形文化遺産登録をきっかけに、伝統の和食文化を見つめ直すことを目的とする講座。和食の良さを知ることにより、日常の食生活の向上、充実を図り、食文化向上に寄与する効果をねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 失われつつある日本食という文化の再認識としてよい企画だと思う。食育的な発展も期待したい。
- ・ 時節をわきまえた企画かと思います。講師も多彩でいいと思います。

#### (4) 「IV コミュニケーション学コース」

【選考結果】

1 グループから1本の企画提案があったが、講座実施にあたり、企画内容が充分でなかったことから、選定しなかった。

## 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間  
(平成24年9月1日～平成26年8月31日)

◎

No.	氏名	所属団体等役職
1	あいば えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院女子短期大学部 事務局長
2	いとう かつゆき 伊藤 一之	株式会社とちぎテレビ 放送本部長・報道制作局長
3	しのぶ すすむ 信夫 享	宇都宮短期大学 事務局長
4	しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 学校長
5	しまの やすお 島野 安雄	文星芸術大学 教授
6	すずき かつのぶ 鈴木 克伸	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所ふれあい学習課 課長
7	むらおか だいがく 村岡 大学	株式会社エフエム栃木 常務取締役
8	おおたけ のぶひさ 大竹 信久	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長
9	つるみ さちこ 鶴見 幸子	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長
10	あらい まみこ 新井 満美子	宇都宮市教育委員会事務局 人材かがやきセンター 地域教育指導員

◎ 委員長

## 平成 25 年度宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会選考結果一覧表

(平成 25 年 1 1 月 2 6 日 実施)

\* 平成 2 6 年度実施 生涯学習コーディネーター企画運営専門講座数 9

分野	番号	講座名	時期	回数	企画者	得点	コース 順位	全体 順位
地域学 I ふるさと	1	下野における戊辰戦争 ～宇都宮を中心に～	前期	8	ともしび	164	2	5
	2	JAZZ のまち うつのみや ～ジャズと出会う・ジャズを愉しむ～	後期	7	ともしび	151	3	11
	3	こぬ人を まつほの浦の 夕なぎに ～じえじえじえ『小倉百人一首』の歴史学 ～	前期	6	宇賀神光夫	173	1	3
会 今を読み解く現代社	1	夢への挑戦 陸!海!空! ～その発想とプロセスに学ぶ～	前期	7	ジャンプ	190	1	2
	2	エネルギー問題, その実情と今後	前期	6	みやの塾	155	4	10
	3	子どもの発達の見据えて ～もう悩まないで大丈夫～	前期	7	ともしび	136	5	13
	4	知って得する 気象講座 ～私たちの生活と関連づけて～	前期	6	ともしび	162	3	7
	5	老後を安心して暮らすために ～今, 何をどうすべきか～	後期	7	ともしび	164	2	5
III 暮らしを彩る教養・文化	1	能・狂言への招待 ～心の癒しを求めて～	後期	6	析の実	136	6	13
	2	下野薬師寺を探る ～古代東国仏教の中心寺院～	前期	6	ともしび	156	3	8
	3	仏像の歴史を探る ～素晴らしい仏像と出会うために～	後期	7	ともしび	173	2	3
	4	国の曙『弥生時代』を知る ～東国, そして栃木～	後期	8	みやの塾	156	3	8
	5	『古事記』天地創造から推古天皇に至る, 壮大なる歴史文学書を紐解く ～『古事記』上の巻 日本の神話, 神々のエピソード～	前期	8	みやの塾	144	5	12
	6	世界無形文化遺産“和食”文化を見直そう! ～豊かな自然の豊かな食材で, 旨くて美しい日本料理を～	後期	7	ジャンプ	193	1	1
コミュニケーション学 IV コミュニティ	1	子どもの笑顔 取り戻してみませんか ～コミュニケーションの力で～	後期	7	ともしび	112	1	15

\* 応募企画数: 前期 8 講座, 後期 7 講座 (内 館外学習実施講座 1 1 講座)

## 「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	<b>社会ニーズ</b> 社会の変化や要請，地域の特性や文化など，あるいは市民の郷土愛を育むなど，社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	<b>市民ニーズ</b> 市民の関心が高く市民の知的好奇心を満たし，興味や探究心を喚起するような魅力あるテーマ設定であるか。
(3)	<b>構成力</b> 設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	<b>運営力</b> 適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	<b>発展性</b> 講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている